

赤十字国際ニュース

2018 年 第 22 号 2018 年 6 月 14 日
(通 巻 第 1275 号)

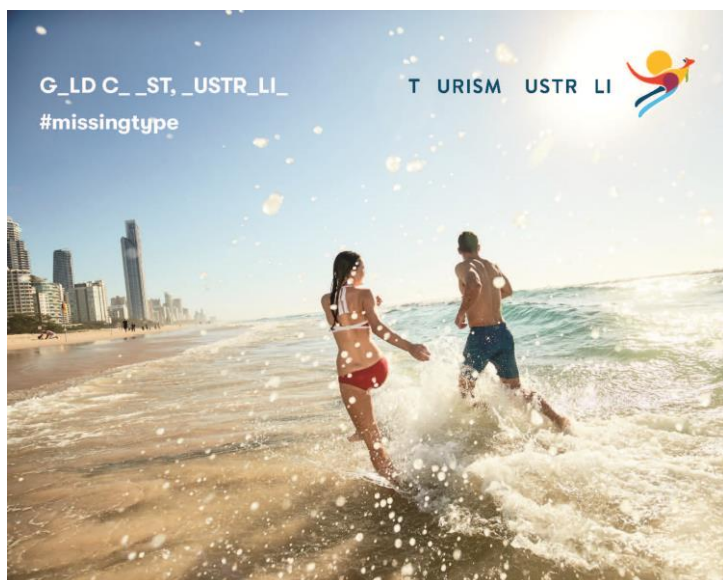
日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6679-0785

E-mail: kokusai@jrc.or.jp <http://www.jrc.or.jp/>

■何かが足りない・・・

突然ですが、クイズです。以下の写真をご覧ください。何が足りないかわかりますか？



※1 オーストラリア政府観光局ポスター (Tourism Australia)



※2 スイスのフルーツジュースの広告 (ANDROS)

■A、B、Oがなくなった！？

そう、広告からA、B、Oが消えているんです！

こちらは、6月14日の世界献血者デーに合わせて、世界中のあちこちで開催されている、「Missing Type (ミッシング・タイプ) キャンペーン」です (Alliance of Blood Operators (ABO) 主催)。

このキャンペーンでは、人の名前や組織の名前から、理由や説明もなしに、突然AとBとOの文字が取り除かれます。それを見た方々に、「もしも (A型、O型、B型、A B型の血液型を持つ) 献血者がいなくなったら・・・」ということを連想していただき、献血の必要性を伝えるという世界的なキャンペーンです。平成27年には、コカ・コーラ社やマイクロソフト社をはじめとする多くの企業が参加しました。



(クイズの正解) 文字の中から、A、B、Oが消えています。

※1 Gold Coast, **A**ustralia/Tourism **A**ustralia ©オーストラリア赤十字社

※2 **A**NDROS/FO**R**CE DE FRUIT, FO**R**CE DE VIE (フルーツの力、生命の力) ©スイス赤十字社

日本では、平成 30 年 6 月 12 日に東京国際フォーラムで開催した「LOVE in Action Meeting (LIVE)」において、突然「LOVE in Action」「Japanese Red Cross Society」の文字から【A B O】が消えました。司会の”レモンさん”こと山本シュウ氏、小林麻耶氏が「なぜ A、B、O が消えたのか？」ということの説明し、献血の大切さを訴えました。



■ 6 月 1 4 日は世界献血者デー

6 月 14 日は、ABO 式血液型を発見し、ノーベル賞を受賞したカール・ラントシュタイナーの誕生日です。それとともに、血液という「いのちを救う贈り物」を提供していただける献血者の方々に感謝し、血液製剤を必要とする方々のために献血が欠かせないことを知ってもらう日でもあります。

ベトナムでは昨年、世界献血者デーに合わせてボランティアや献血者が、世界の人々に向けて献血の啓発をするため、自転車でハノイ市内を駆け回りました。



ハノイ市内を駆け回る様子。自転車にはベトナム国旗と血液の滴をモチーフにした看板が掲げられています

今年は「だれかのための献血を」

をテーマに、献血という行為が、お互いを思いやることや、社会的なつながりを生むよう働きかける役割を担っていることに注目し、世界中でイベントが行われます。

■ 1 日に約 3000 人が輸血を受けています



献血ルームでの献血のようす

国内で輸血を必要とする人は、1 日平均で約 3,000 人にもものぼります。患者さんが輸血を受けるにあたって、場合によっては何人分もの血液が必要となることもあり、年間で約 507 万本の輸血用血液製剤が医療機関に供給されています。

献血血液には、有効期限があり、一番短いもので 4 日間しか保存できません。また、短期間に何度も献血にご協力いただくことはできないため、一人ひとりの方に継続的に献血に協力していただくことがとても大切です。

～今回のニュースはいかがでしたか？ご意見・ご感想をお待ちしております～

良かった・もっと知りたいテーマや記事、改善してほしい点など下記アドレスにお寄せください。

ご意見・ご感想をいただいた方の中から抽選で毎月 1 名様に赤十字グッズを差し上げます。

いただいたご意見・ご感想は今後本ニュース内でご紹介させていただく場合があります。

☆☆ 日本赤十字社国際部 kokusai@jrc.or.jp ☆☆